



## 総合的な学習の指導案

指導者 堺市立美木多小学校  
3年担任・TT

1、日時 2001年1月31日(水) 5校時(13:35～14:20)

2、学年組 3年4組(33名)

3、場所 コンピュータルーム

4、教材名 「美木多マップづくり」

### 5、単元目標

美木多小学校校区および隣接する地域で興味関心のあるものについて、進んで調べることができる。

活動を通して、地域に対する理解と愛着を深めることができる。

調べたことをコンピュータを利用してまとめ発信することができる。

#### 学習のポイント

- ・調べ活動を通して、地域に親しみを持つ。
- ・地域について知っていることを話し合ったり下調べをしたりしながら、よりよい調査テーマを探していく。
- ・一人一人が課題意識を持って、テーマを決める。
- ・インタビューの仕方や記録の仕方を工夫する。
- ・聞き手に分かるように、プレゼンテーションの工夫をする。

### 6、子どもの実態

校区の特性を考えると、この美木多小学校区は子どもたちにとって非常に広大でかつ地理的に分断された校区であると思う。大森、檜尾、美木多上、別所などの旧地区は細長く距離的にはなれており、鴨谷台とは数本の道でつながっているだけである。そして鴨谷台においても1丁と3丁の間には、中学校と鴨谷公園があり低学年の子どもには「遠い所」と感じさせる。そのためか、子どもは帰宅後他の地区の子どもと遊ぶことが少なく、自分の住んでいる地区以外のことを知る機会は少ないようである。

そのような状況の中で、この子どもたちは2年生の時に生活科の学習「とびだせ たんけんたい」- まちたんけんのでかけよう - の取り組みで、グループ別に校区を探検し、調べたことをまとめ発表する経験をつんだ。

そして3年生になり、校区の学習も進んだことと、発達段階で行動半径が広がる時期であることがあいまって、少しずつではあるが行き来が増えいろんな場所を知るようになってきている。

「美木多マップづくり」で一人一人が調べた成果を持ち寄り、コンピュータを使って構造的に組み立てられる過程を体験する中で、子どもたちは地域全体の様子を、広がりに関連をもって捉え、地域への理解を



深めていくことと思う。

そして、自分たちで実際に見たり話を聞いたりする中で、働く人たちにふれ、その思いを知り、地域に愛着を持つよう育って行ってほしいと願っている。

## 7、教材について

本単元は「総合的な学習」として、今までの社会科学習を補完し発展させるものとして位置付ける。

3年生は、社会科の「住みよい町づくり」や「私たちの市のようす」の単元で、校区や堺市について学習してきた。一学期には、田植えの見学・校区めぐりを行い、図書館や体育館を見学に行った。二学期には、地域の園芸農家の見学、校区を離れてせっけん工場や、自転車産業（自転車博物館）、臨海工業地帯の見学をした。さらに、自分の家族が日ごろ利用する近くの商店についても見学に行った。それらの活動を行う際には「調べたいこと」、「聞きたいこと」、「見たいこと」を話し合う中で課題意識をはっきりと持たせるようこころがけた。

見学する際のマナーやインタビューの仕方など、調べる方法についての学習もしてきた。まとめ方についても、「ノートにまとめる」「掲示物にまとめる」「パソコンで印刷物にまとめる」「個人でまとめる」「グループでまとめる」とさまざまな方法を体験してきた。

情報の発信という点では、社会科の学習で、お互いに発表したり、授業参観で保護者に発表したりしてきた。

本単元ではこうした今までの学習を踏まえて、課題を決め、学習をすすめる、パソコンを使ってまとめ、発信していくという全過程を子ども一人一人が主体的にすすめることを目指している。

情報の発信という点について、竹城台小学校の3年生と交流をはじめている。12月に竹城台小学校3年生から、「校区調べ」の掲示物とビデオレターをもらった。竹城台小の子どもたちが自分たちの校区を元気に一生懸命発表する姿を見て感心するとともに、「美木多小学校のみなさんも校区のことを教えてください」と呼びかけられ、大いに意欲を高めている。

## 8、研修の視点について

児童が自分の思いや考えを生かし、主体的に活動できるような学習活動のあり方

- ・ テーマを選択できること
- ・ 個別に学習を進めるためのきめ細かいアドバイス
- ・ 主体的に学習するための「力」を育てる

学年で（見学）グループで（取材）課題別グループで（取材）という段階をふむ中で、個人でテーマを持ち学習を進める力をつける

（インタビューの仕方、マナー、デジカメ・パソコンの使い方）

児童自らが考えを深め、豊かに表現できる場の設定

- ・（ノートにまとめる）（掲示物にまとめる）（パソコンで印刷物にまとめる）（個人でまとめる）（グループでまとめる）等様々な活動の経験



- ・学級集団の中での発表 交流
- ・参観日などで保護者に発表
- 他の学校の児童への発信 交流

児童一人一人の思いが、集団の中で受け入れられるような集団づくり

- ・学級の枠をはずし、自分と同じ課題を持つ友達と活動する中で、一人一人の思いが受け入れられるような場の設定

《今までの取り組み》

- 親子ドッジボール大会
- 水泳大会
- ライアン先生との交流会
- 体育大会表現活動の委員会での取り組み
- 学年ユギハッキョ
- 朝会での学年発表
- ダリアさんとの交流会

一人一人の良さを見つけ、それを伸ばす評価のあり方

- ・友達が作った美木多マップのページを繰り返し見ること、互いのよさに気づく。自分の作品の振り返りが出来る。
- ・発信した相手 (保護者、他校児童 )から感想をもらう。

## 9、情報教育の視点から

コンピュータの取り扱いについては、1学期に「スーパーYUKIpro」を使ってお絵かきをして操作に慣れさせた。

2学期からは、何を作るのかという目的意識をはっきりさせて、パソコンの利用を進めた。「一太郎スマイル」を使い「夏休みの絵日記」を作った。国語科の「サーカスのライオン」ではじんざへの手紙を書き、社会科の「堺市の農業」では、「メディアマップ」を使い産地地図を作った。社会見学のまとめもコンピュータを利用して作るなど、コンピュータの活用を積み重ねてきた。

その中で

- いつまでたってもきれい (劣化しない)
- 場所を取らない (コンパクト)
- あとのつけたし、加工が簡単
- たくさん配れる (コピー)
- 世界への発信 (ホームページ)への発展も可能

などの利点がコンピュータにはあることに気づかせていった。



美木多小学校では、2学期から「一太郎スマイル」が導入された。「一太郎スマイル」にはクリックパレットがあるため、3年生の子どもにも文字入力 became 容易になった。「美木多マップ作り」では、「一太郎スマイル」のホームページ用書き出し機能をつかう HTML 形式でファイルを保存し組み立てていくことによって、出来上がった「美木多マップ」を、一般的なパソコンで特別なソフト無しで自由に閲覧できるようになる。CD に焼いて竹城台小学校の3年生に送り交流を深めたい。さらに CD の配布や貸し出しなどで、保護者にも学習の成果を知ってもらったり、地域の様子を紹介することも出来る。また、データの追加や、作り直しが容易であるため、学年が上がるにつれて「環境」や「福祉」など他のテーマも取り込んで行ける。複数学年が協力してまとめて行くことも出来る。

そして何より HTML はインターネットのホームページの形式である。「美木多マップ」を世界に向けて発信することも可能である。そういった環境の整備が目前にせまっている。子どもたちと共に夢を広げて行きたい。

### 10、総合的な学習 (情報教育・パソコン活用)の年間計画

内 容	操 作	関 連	時 間
お絵かきをする。 (スーパーYUKIpro) ・自由に絵を書くことで、さまざまな操作(マウスの操作)に慣れる。 ・書いては消すを繰り返す。	パソコンの起動 クリック Wクリック ドラッグ ソフトの起動 ソフトの終了 お絵かきソフトの ペン スタンプ 色塗り 消しゴム 等の機能の活用	図工科	2時間 (7月)
夏休みの絵日記をかく。 (一太郎スマイル) ・ワークシートの利用。 ・夏休みで心に残ったことを絵に書く。 ・絵に合った文章を書く。	お絵かきソフトの スプレー 範囲指定 拡大・縮小 移動 等の機能の活用 ファイルの保存・呼び出し クリックパレットの呼び出し クリックパレットを使つての 文字入力 印刷	国語科	6時間 (9月)



堺の農業のまとめをする。 (メディアマップ) ・ 野菜や果物のスタンプを白地図の上に押す。	スタンプ	社会科	2 時間 (10 月)
「サーカスのライオン」の感想を書く (一太郎スマイル) ・ 画用紙に絵をかく。 ・ デジタルカメラでコンピュータに取り込む(教師) ・ 画像を呼び出し、貼り付ける。 ・ 「じんざ」への手紙を書く。	画像の呼び出し・貼り付け クリックパレットを使つての文字入力 文字の装飾(拡大)	国語科	4 時間 (10 月)
塗り絵(ポケモン) (一太郎スマイル)	ファイルの呼び出し 印刷	図工科	1 時間 (10 月)
社会見学のまとめ (一太郎スマイル) ・ 社会見学の画像を選んで貼り付け、見学してきたことをまとめる。 ・ 印刷して掲示する。	画像の呼び出し・貼り付け クリックパレットを使つての文字入力 印刷 保存	社会科	3 時間 (10, 11 月)
買い物ゲーム (ゲームソフト)	クリックの練習	学活	1 時間 (12 月)
デジタルカメラを使う。	デジタルカメラの電源の ON・OFF 撮影	学活	1 時間 (12 月)
美木多マップづくり ・ 美木多校区について調べたいテーマを決め、自分で調べる。 ・ 画像を準備する。 ・ 調べてきたことをまとめる。 ・ できあがったマップを他校の児童や保護者に発信する。	画像の貼り付け 画像の配置 クリックパレットを使つての文字入力 文字の装飾 デジタルカメラの利用 HTML ファイルの呼び出し・保存 ネットワークの利用	社会科	12 時間
・ 美木多マップクイズ 友達のマップを開いてクイズをとく。		社会科	3 時間 (2 月)



## 11、指導計画 (全 12時間)

第 1次 美木多マップ作りをしよう(1 時間)

竹城台小学校 3年生のビデオレターを見て自分たちも校区の様子をまとめ発信しようという意欲を持つ。

第 2次 テーマを決めよう(3 時間)

・美木多校区で紹介したいものは何か話し合う  
 ・自分が調べ発信したいものは何かを決める。  
 ・取材の方法を考える。

第 3次 取材をしよう(2学期末～3学期はじめ)

・インタビューで取材する。  
 ・カメラ、デジカメ、パンフレットで画像を集める。  
 ・画用紙に絵を描く

第 4次 まとめよう(6 時間)本時 5/6

調べたことをコンピュータでまとめる。

第 5次 発信しよう(2時間)

・お互いに発表しあう  
 竹城台小学校 3年の子どもたちに送る。  
 (ビデオレターを添えて)  
 ・うちの人に紹介する。

## 12、本時の目標

調べてきたことをコンピュータを使ってまとめる。

途中まで出来た成果を交流し、自分の作品に生かす。

## 13、本時の展開 (第 4次 5時)

子どもの活動	教師の支援・留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べてきたことをホームページ形式にまとめる。</li> <li>・出来た作品を先生機に送りリンクをつなく。</li> <li>・出来上がった作品を紹介しあう。</li> <li>・よいところに気づき、自分の製作のヒントにする。</li> </ul>	<p>ホームページ用のワークシートを用意する。</p> <p>T.T が児童機からファイルをサーバーにコピーし、先生機でリンク付けをする。</p> <p>プロジェクターで投影する。</p> <p>写真の入れ方                      文字の色づけ                      説明のわかりやすさなどに着目させる</p>



単元指導計画（全体時間 12 時間）	
11、指導計画（全 12 時間）	
第 1 次	美木多マップ作りをしよう（1 時間） ・竹城台小学校 3 年生のビデオレターを見て自分たちも校区の様子をまとめ発信しようという意欲を持つ。
第 2 次	テーマを決めよう（3 時間） ・美木多校区で紹介したいものは何か話し合う。 ・自分が調べ発信したいものは何かを決める。 ・取材の方法を考える。
第 3 次	取材をしよう（2 学期末～3 学期始め） ・インタビューで取材する。 ・カメラ、デジカメ、パンフレットで画像を集める。
第 4 次	まとめよう（6 時間） <b>本時 5/6</b> ・調べたことをコンピュータでまとめる。
第 5 次	発信しよう（2 時間） ・お互いに発表しあう。 ・竹城台小学校 3 年の子どもたちに送る。 （VTR レターを添えて）
本時の目標と展開（本時はその 9 時間目）2001 年 1 月 31 日、児童数 33 名	
目標 調べてきたことをコンピュータを使ってまとめる。 出来た成果を交流し、自分の作品に生かす。	
子どもの活動	教師の支援・留意点
調べてきたことをホームページ形式にまとめる。  出来た作品を先生機に送りリンクをつなぐ  出来上がった作品を紹介しあう。  友だちの作品のよいところに気づき、自分の製作のヒントにする	ホームページ用のワークシートを用意する。  T.T が児童機からファイルをサーバーにコピーし、先生機でリンク付けをする。  プロジェクターで投影する。  写真の入れ方 文字の色つけ 説明の分かりやすさなどに着目させる